

令和2年10月1日  
文化財保護課文化財保護係  
TEL 23-2111 内線2601

## 旧久米邸洋館保存整備事業について

### ○概要

沼田市名誉市民である久米民之助翁（1861～1931）が暮らした渋谷区代々木上原の邸宅、通称「代々木御殿」の一角にあった洋館を、市内中心市街地に移築し保存整備します。

### ○経過

この建物は大正期に建てられた洋館として歴史的に貴重な建造物です。木造平屋建てで、当時世界的に流行していたセセッション（ウィーン分離派）風の外観を持つものです。久米家の後には紀州徳川宗家の迎賓館として使用された洋館は、関東大震災や戦時中の空襲など困難をくぐり抜け、現在は「旧岩佐多間邸」として親しまれています。

本年10月末を期限に建物の解体が決定していることから、久米民之助翁に所縁があり同じく渋谷区内の旧土岐家洋館を移築した実績のある沼田市に情報提供があり、市内への移築による保存整備を決定いたしました。



### ○目的

この建物は、久米民之助翁が建築し暮らした邸宅内の洋館であり沼田市に所縁が深いこと、大正初期の歴史的建造物として価値があることなどから、歴史的建造物として保存整備することにより、市民文化の振興を図るとともに、「大正ロマンのまちづくり」と銘打つ中心市街地の新たな建造物として追加することで相乗効果が期待できます。

### ○建物概要

構造 木造平屋建て（一部RC造）

面積 約90㎡（9.4m×10.1m） ※概寸、テラス部を除く。

### ○予算措置

沼田市議会9月定例会において解体移転費用について予算化。

### ○ガバメントクラウドファンディング

今後はふるさと納税制度を利用したガバメントクラウドファンディングによる周知を予定しています。（10月上旬開始予定）

ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください

—お問い合わせ先—

沼田市教育部文化財保護課文化財保護係 TEL 0278-23-2111 内線2601